ぱらボラ

96.8.20
第3号

発行：東灘・地域助け合いネットワーク
〒658　神戸市東灘区住吉東町2-3-28　東灘区役所中庭事務所
TEL 078-843-4029　FAX 078-842-2907
e-mail　tasukeai@mxb.meshnet.or.jp



東灘区民夏まつりのオープニング

今月のトピックス（8月）

●六甲アイランド北ふれあいセンターで第12回ふれあいダンス教室
●甲南女子大フィールドワークグループが六アイ仮設で子供と「遊ぶ会」・・・・・・・★
●「神戸市復興推進懇話会」第1回委員会に出席
●県社協サマーボランティア'96参加高校生、一週間ボランティアに・・・・・・★
●尼崎市園田地区民生児童委員協議会でスライドを使い講演する
●六甲アイランド第2仮設で盆踊り、「若芽の会」が協力・・・・・・・・・・・・・・・・★
●兵庫県長寿社会開発機構が当ネットワークのシルバーボランティアの取材
●2年ぶりの「東灘区民夏まつり」華やかに開催　・・・・・・・・・・・・・・・・★
●市民・連合ボランティアネットワーク主催「夏休み思い出づくりプレゼント」
東京ディズニーランド招待旅行、区内仮設からは小学生22人が参加
●当ネットワークでボランティア交流会開かれる・・・・・・・・・・・・・・・・★

活動レポート

◆六甲音頭でヨイ、ヨイ、ヨイ～

８月３日（土）、六甲アイランド第２仮設住宅で盆踊り大会が行われ、当ネットワークはテント３張の設営と当夜のお手伝いに参加した。第２住宅自治会の主催で、大阪府四條畷市のボランティアグループ「若芽の会」が夜店などに協力、午後２時から輪投げやヨーヨーつりの屋台作り準備を始めた。２ヶ月前から焼き鳥やフランクフルト、わらび餅などを計画していたところへＯ－１５７で急きょ変更。「残念やけど仕方ないね」と会長の武田さん。

自治会は大太鼓、堤灯、紅白の幕まで借りて舞台装置は満点。四條畷からは揃いのゆかたの踊り手さん10人も加わり、雰囲気はグッと盛り上がった。第２だけでなく第１、第３住宅からも大勢の参加があり、午後９時までの“真夏の夜のひととき”を楽しんだ。

◆高校生体験ボランティア

７月25日～31日まで当ネットワークに兵庫県北部の県立日高高校福祉科２年生の矢富さんが、サマーボランティアに訪れた。一週間の体験を通して一番勉強になったのは「車椅子介護だった。寝たきりの人なので暗いイメージを持って迎えに行ったのに、明るい人で逆に教えられた」ことだという。

家族の反対を押し切り自ら福祉の道を選んだ彼女は実に積極的だ。茶話やかテントでも高齢者と一緒になって青空の下で楽しんでいた。



◆ボランティア交流会開かれる

７月27日、当ネットワーク事務所にて姉妹団体である西宮、神戸中央、西の各助け合いネットワークから、新旧のボランティアをはじめ、支援団体の方など約50人が集まり会費制の交流バーベキュー大会が行われた。

同じグループでも活動曜日が違うため日頃ほとんど顔を合わさない人と出会ったり、震災直後から１年４ヶ月ぶりに顔を見せたボランティアが当時を懐かしむ場面も。姉妹団体のリーダーによる座談会も行われ現在の問題点についての意見交換もあった。いつもとは違う雰囲気で有意義な交流をはかれたのではないだろうか。



◆楽しかった「遊ぼう会」

８月９日、私達甲南女子大学フィールドワーク一同は、六甲アイランド第６仮設住宅で「遊ぼう会」という子供達を対象にしたイベントを行いました。当日はメンバーの友達の男の子２人が駆けつけてくれました。

集まった子供は４歳から中学１年生までの約２０人。みんなこっちがうんざりするほど元気で集まってからが大変。シャボン玉を作ったり、洗剤の容器の水鉄砲や水風船で遊んだり、スイカ割りのかわりに風船を割ったりして、最後にみんなでスイカを食べて楽しい時間をすごしました。

終わった後、子供達が「またね。」と言ってくれた時、この催しをして良かったと思いました。

（甲南女子大学フィールドワーク一同
報告　　直井玲子）

◆区民夏まつりに参加する

東灘区の灘高グラウンドで8月25日（日）午後2時から昨年は震災の為、中止になった区民まつりが「区民夏まつり」として行われた。

開場はサンバで華やかに繰り広げられ、伝統ある灘の生一本が届き、恒例の鏡開きを行った。進行に合わせて手話による司会もあり、ピアノの弾き語りやブラスバンドの演奏で盛り上がった。

会場の東にはボランティアコーナーを設け、各団体がパネルで日頃の活動状況を展示。また通る人達に、うちわやお菓子を配り、冷たいウーロン茶で喉を潤してもらった。

私達は第1部で切り上げたが、第3部でレーザーによる音と光のファンタジーを楽しんでもらおうと各ボランティア団体が持ち寄った灯篭は約200個になった。



ボランティア訪問日誌から



家事介助とお話相手

「ごくろうさん、ひとやすみしてから始めてくださいよ」マンションの扉を開けると山岡一男さん（80歳・仮名）がねぎらいの言葉を掛けて下さいます。言葉の少ない方でしたが最近は昔の話や家族のことも話して下さるようになりました。「遠い所からボランティアの方に来てもらうだけでも勇気づけられます」と思いがけない山岡さんの言葉にうれしさを感じながら、今日も部屋、トイレ、風呂を掃除し、洗濯、布団干しをしました。震災の事は何もおっしゃらず、前向きな考えをされている方で私も励まされる思いで、お掃除にも力が入りました。

（体験・古田／女性）

⬇2月頃からの仮設巡回訪問の結果、必要なお宅にだけ行くようになり、「話し相手・様子伺い」が少なくなりました。逆に「車による通院・外出送迎」は一般地域からの依頼も増えています。

1996	サービス内容	5月	6月	7月
家事	掃除・調理等	54	56	64
介護	介護一般・話し相手・様子伺い等	241	143	149
移送	車による通院・外出介助等	45	63	73
	車による引越・荷物運搬等	43	22	14
	小旅サービス	3	4	4
住宅設備改善	大工仕事・修理等	7	3	0
その他	室内での荷物運び・移動・その他	7	15	6
ふれあいセンター		54	33	29
茶話やかテント		6	6	9
ふれあいサロン		7	7	6
心のオアシス		2	4	11
その他のイベント		2	4	4
サービス件数		471	360	369
一日平均サービス件数		17	14	15
参加ボランティア総数		613	598	598
一日平均ボランティア数		23	24	25
ボランティア登録数（累積）		1,250	1,267	1,287

9月のネットワーク・カレンダー　September／1996

日	月	火	水	木	金	土
1 ◇第13回ふれあいダンス教室（六アイ 館1・館1）	2 ♧懇談会「グループホームについて」長寿社会文化協会主催 ♡ネットワーク月例リーダー会	3	4 	5 ▲茶話やかテント（福井池仮設） ♡市民・連合ボランティアネットワーク現地代表者会議 ♡ふれあいサロン月例ミーティング	6 ♡市民・連合ボランティアネットワーク現地代表者会議	7 ♧東灘区ボランティアシンポジウム「ボランティア活動の新たな方向性をさぐる」 ♧講演会「高齢者を地域で支える」あゆみの会
8	9	10 ◆ふれあいサロン（田中医院） ♧講演会「地域づくりと女性」都市生協主催	11	12 ◆ふれあいサロン（川島クリニック） ♡防災システム／自治体ヒアリング（東京都・横浜・静岡）	13 ♡神戸・中央助け合いスタッフ会議 ♡東灘区ボランティア連絡会 ◇YMCA福祉研究会	14 
15 	16（祝） ♡第6回幹事会	17 ◆ふれあいサロン（河原医院）	18 ◆ふれあいサロン（深山医院）	19 ◆ふれあいサロン（神尾医院）	20 ♡東灘区地域ケアネットワーク会議	21 ◇全国ボランティアフェスティバル（大阪）
22 ♧市民互助型団体全国連絡会（神戸）	23（祝）	24	25 ◆ふれあいサロン（有光医院）	26 ◆ふれあいサロン（宮地クリニック）	27 ◆ふれあいサロン（高瀬内科） ♧講演会「震災後のまちづくり」東京都職員労組主催	28 ♧講演会「阪神大震災に学ぶ」大阪女性センター主催
29	30 					

マーク見方

▲ 茶話（さわ）やかテント（午前11時～午後12時30分）
小規模仮設住宅を中心に地域の方の交流を中心とした楽しい移動集会所。

◆ ふれあいサロン（午後2時～3時30分）
地域の医院の待合室で高齢者の生きがいづくりのお手伝い。簡単な体操、歌、健康についての話など。

♧ 講演会、シンポジウムなどに出席

♡ 会議

♤ 取材・来訪者

◇ 他団体の事業・企画に協力

▲茶話（さわ）やかテント
◆ふれあいサロン
} にぜひ参加を！

☎843－4029

かつどうジグソー 3 ある日の「茶話やかテント」

7月31日、晴れ。事務所でのミーティングで今日の参加ボランティアを決め、早速机やいす、お茶とお菓子、催しに使う紙粘土など必要な物をワゴン車に積み込み、出発。今日の開催場所の御影公園地域型仮設住宅には10分程で到着。荷物を降ろし木陰に机といすをセッティングし、共同の炊事場を借りてお茶の用意をする。ここでの開催は昨年の8月から10回目になる。顔馴染の住民の方に「また、来ましたー。用意できたら出てきてね。」と声をかければ「ありがとう。洗濯終わったら行くね。」と返事が返ってきた。１０時半頃から人が集まりはじめる。民生委員さんから声をかけてもらった地域のお年寄りも三々五々来はじめる。お茶とみずようかんを出してしばらくみなさんとおしゃべりに花が咲く。

今日の催し物は“紙粘土で作る自分物語”。11時頃からそれぞれが思い思いのものを作り始める。そして出来た作品についてボランティアの平田さん（心理療法士）の発声で一人一人が話をする。

ウサギを作ったAさんは「子供の頃駆けっこが得意だった。今は足が悪いけどウサギみたいに走りまわりたいなぁ」。おにぎりを作ったBさん「遠足の時おかあさんが作ってくれたおにぎり」、とそれぞれの物語がある。日頃閉じこもりがちなお年寄りが外に出ていろいろなお話をしたり一緒に笑った。今日は30人の参加があった。

区内の仮設住宅に折りたたみ式テントを持参しての茶話やかテントも昨年からで約60回になった。各回毎に手芸教室やみんなで歌う会などいろいろな催し物を行ってきた。すでに多くの一般仮設住宅では「ふれあいセンター」にその役割を引き継いだ。地域型仮設住宅では今後、空き部屋を利用した「ふれあいルーム」に集会の場を移行していく予定である。

（茶話やかテント担当ボランティア　上村光代）

ください

■仮設住宅の方が求めています
- 冷蔵庫（小型）
- カラーテレビ

■ふれあいセンターで使います
- 電気ポット
- 長いす（ソファ）
- 家庭用電動ミシン

⇨仮設の方が共有で使用します

■ボランティア事務所で使い
- ワープロ（オアシス）

あげます

- 手押しショッピングカー
- 二漕式洗濯機
- 中国陶器
  急須と湯飲みセット
- 電子レンジ
- 傘立て
- エレクトーン

■お知らせ
先月号のワイシャツがたくさん集まりました。ありがとうございました。今月もご協力をヨロシクお願いします。





ボランティア求めます

午後の約3時間、月1～2回からOKです

お問い合わせ 078-843-4029

どんな人？こんな人！

ふれセン運営委員長

おおたひでお
■太田秀男　■６３才
■六甲ｱｲﾗﾝﾄﾞ
　第三仮設住宅在住
■六甲ｱｲﾗﾝﾄﾞ第三ふれあいセンター運営委員長
■灘区で被災。



この仮設に入居後、もちまえのめんどうみの良さで、体の不自由な人やお年寄りの手伝いをしているうちに自治会の役員、ふれあいセンターの運営委員長になってしまった。「やるからには、誰でも自由に出入りできる神戸で１番楽しいふれあいセンターにしたい。」とにこやかにご本人は語る。六甲第三ふれあいセンターの楽しく自由な雰囲気は太田さんの人柄によるものに違いない。

ボランティア

あらきやすこ
■荒木康子
■３０才代
■東灘区
　森北町　在住
■六甲第二
　仮設住宅担当



■毎週月曜日、自転車で元気よく事務所にやって来る。家では中学３年生の双子の男の子のお母さんである。人なつっこい笑顔でまわりの雰囲気を明るくする。週に１回無理なく自分のペースで、それでいて仮設担当リーダーとして大切な役割を果たしている。

仮設で作ってます！





箸ふくさ

先日、六甲ｱｲﾗﾝﾄﾞ第三ふれあいセンターにおじゃました時すてきな「箸ふくさ」が目に留まりました。お箸とそれを包むための約２０ｃｍ四方のふくさのセットです。これは、仮設住宅に住むおばあちゃん達がひと針、ひと針仕上げられた製品だそうです。１日も早く元のところに帰れる日をめざし、頑張っておられます。このセットは１０００円で販売しているそうです。

問い合わせ先：川上　文夫さん
神戸市東灘区向洋町中 8-1
第三仮設住宅 17-6　電話 030-031-0171

７月のボラティア登録者数 - １２名

この内、東灘区内の方が７名もいるのはうれしい限りです。

さて前号で、ボランティアのための昼食作りボランティアを求めたところ、早速反応がありました。近くの仮設の方でこの「ぱらボラ」がふれあいセンターから回覧版で回ってきたそうです。「週一回でもＯＫ」にひかれたとか。昼食作りの他のワークにも積極的に参加されています。本当に嬉しい事です。

新しく仲間になった皆さん、どうぞよろしくお願いします。

編集後記

●プロモーションビデオの撮影が一通り終わりました。ご協力ありがとうございました。（松村一史）
●お盆休みは「ぱらボラ」のレイアウトに捧げました。（上村光代）
●夜、そっと耳を澄まして下さい。小さな秋が見つかります。（村山メイコ）
●いつものレイアウト担当者が帰省中。ピンチヒッターも詰めの段階で身動きとれず。こりゃ、本腰いれてパソコン覚えにゃ！（原俊子）